

# 3.

2021

発行 令和3年3月



## MAHOROBA DAYORI

—まほろぼだより—



### 「一手一つ」をプレーで体現

～天理大学ラグビー部が初の全国制覇～

社会福祉法人まほろば 理事長 飯降政彦

※令和3年1月5日年頭式（オンライン）より

日本で最初に新型コロナウイルスの患者が報告されて早や1年以上が経過しました。

本稿執筆の時点で、世界の感染者は1億人を超え、死者も200万人以上となって、まだまだ終息の目途は立っていません。

色々な文化活動、スポーツ大会などが規模の縮小や中止に追い込まれることが多い中、昨年末から正月にかけて、第57回「全国大学ラグビーフットボール選手権大会」が開催され、天理大学が見事に初優勝しました。

2年前に日本で開催されたラグビーのワールドカップで日本は、小柄な体躯にもかかわらず、ベスト8に進出し、屈強で大柄な世界の国々の選手と互角に戦い、日本中を興奮の渦に巻き込みました。小柄な選手が多い天理は、そのオールジャパンのスタイルとダブります。

天理大学ラグビー部の歴史は古く、今年で創部96年目。然し、これまで幾多の辛酸をなめて、日本一への道は厳しかった。毎年、東大阪の花園で開催される高校生の大会で活躍する高校日本代表クラスのエリートのラグビー選手達は、そのほとんどが関東の大学へ進学し、関西の大学に進む若者は少ないのです。

そんな中、天理大学は部のスローガンに「一手一つ」を掲げて、大きな選手に向かい、低く強いスクラムと、

鋭く俊敏な動きで立ち向かいました。

実は今年のチームは、昨年8月に部内で新型コロナウイルスの感染が発生、170名の部員の内、62名が陽性と診断され、部員たちは、病院やホテル、自宅などに分かれて治療や待機をしました。このまま今季は終わるのか・・・と悲観的になる選手も少なくなく、活動が危ぶまれる中、天理市民やラグビーファンからの支援や応援を受けました。そして約1か月の活動休止期間を経て、見事に復活しました。

関西Aリーグを5連覇、全国大会に駒を進めると、流通経済大学、明治大学に快勝、決勝では前回の王者・早稲田大学に完勝し、悲願の初優勝を勝ち取りました。

優勝後のインタビューで、松岡大和主将（甲南高校）は「辛い日々も、応援して下さった方々のお陰で頑張れた。感謝だけでは足りない。日本一という結果で恩返ししたいと思っていました」と熱く語っていました。

同チームのスローガン「一手一つ」は、我々まほろばも、三信条の一つに掲げています。お互いを尊重し、心と態度を合わせ、一人ひとりが自らの役割を果たし、互いを認め合いながら心寄せ、進む---まほろばの心でもあります。

令和3年  
mahoroba  
年頭式  
オンラインで開催

令和3年1月5日、社会福祉法人まほろば令和3年の年頭式を開催しました。今年は、新型コロナウイルス感染予防対策としてオンラインで実施し、各事業所に分かれ、役職員合計84名が参加しました。理事長の新年あいさつ及び訓示に始まり常務理事、業務執行理事が新年のあいさつをした後、「社会福祉法人まほろば三つの信条」の唱和、永年勤続表彰、ありがとうカード表彰、辞令交付などが行われました。例年ならばこの後新年会を催しますが、今年は感染対策のため中止とし、お弁当のお持ち帰りとしました。

【社会福祉法人まほろば三つの信条】

理念・目的

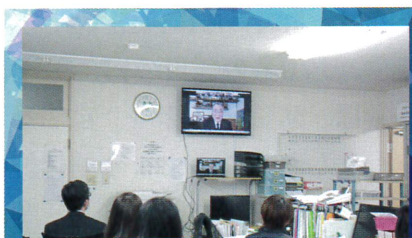
「一れつきょうだい 互い立て合い たすけあい」思いやりの心を持ち、互いに寄り添いながら暮らせる社会の実現を念願し、全ての人々のために貢献する組織をめざします。

心の在り方・行動の基

感謝の心をおこないに表す「ひのきしん」を大切に、常に感謝と喜びを心にたたえて勇み心でつとめます。

組織の在り方

お互いの個性を尊重し、それぞれの個性が活かされるよう、心と態度を合わせて一手一つにつとめます。一人ひとりが自らの役割を懸命に果たし、互いを認め合いながら、心を寄せて進みます。



ウェルフェアまほろば事務所



法人本部



母屋 1F



三木光司園 食堂



ウェルフェアまほろば会議室



母屋 2F

正午の祈り

新型コロナウイルスの感染拡大が世界的に広がり終息の兆しが見えない中、社会福祉法人まほろばでは、この感染拡大の早期終息はもとより、罹患された方々の身上平癒とともに、さまざまな困難に直面している方々の一日も早い平穏な日常への回復と、社会的・経済的な混乱の収まりを願い、宗教や宗派の枠を超え、法人内の各事業所において毎日正午（12時）に約40秒ほど音楽が流れている間、少し手を止め祈る時間を設けています。

# まほろば新天地を“生きる地”へ

以前購入した神戸市西区神出町の土地が様々な人たちの手によって“生きる地”へと成長していく様子をお届けします。

## 天理教災害救援ひのきしん隊(災救隊)の力の源は訓練



### 災害救援隊訓練

11月27日・28日の2日間、以前購入した地で災害救援隊による訓練が行われました。

総勢173名の隊員の皆さんが遊歩道の新設や竹林の整備、樹木の伐採などの活動をされました。コロナ感染の拡大を避けるため、当初は2泊3日の合宿体制であったものを日帰りに短縮し、1週間前からの検温やマスク着用の徹底など様々な感染対策を講じての実施となりました。

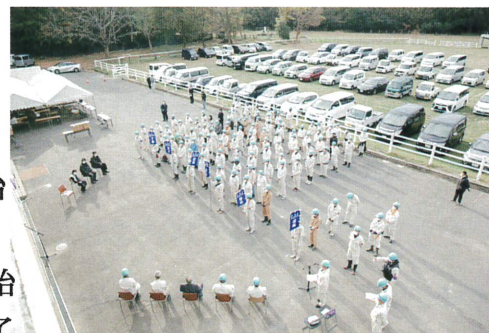
#### スケジュール 1日目

- 8:00 受付
- 9:00 結隊式  
ご来賓(兵庫県知事)
- 9:30 オリエンテーション
- 10:00 作業開始
- 12:00 昼食
- 13:00 作業開始
- 16:30 作業終了
- 17:00 1日目解散



#### スケジュール 2日目

- 8:00 集合
- 9:00 作業開始
- 12:00 昼食
- 13:00 作業開始
- 16:00 作業終了
- 16:30 解隊式  
ご来賓(神戸市長)
- 17:00 解散



### どんな活動をしたの?

#### 第1現場

##### 金棒池山 遊歩道整備

- ・遊歩道120m新設し、樹木の伐採や900㎡の草刈りを行い、遊歩道として環境づくりをしてくれました。



#### 第2現場

##### ゴルフ団地山 樹木伐採

- ・7200㎡の約1000本の樹木を伐採。非常に見渡しもよくなり土地の有効活用に夢が膨らみます!



#### 第3現場

##### まほろば研修棟横の竹林整備

- ・約800本の竹を伐採。



#### 結隊式 あいさつ

井戸敏三兵庫県知事ごあいさつより

コロナにも 負けず訓練 明日のため  
複合災害 備えていかん



と詠まれ、コロナ禍においても災害は起きること、有事の際に必要な経験であると判断し、厳行したことを話されました。

#### 解隊式 あいさつ

久本喜造神戸市長ごあいさつ

ひのきしん隊の皆様方が毎年いろいろな災害を想定して訓練を重ねていただいていることを本当にありがたく思っています。神戸市は日本を代表する大都市ですが、海・山の自然に恵まれた都市です。この豊かな自然を私たちが力を合わせてこれを甦らせ、未来の世代に引き継いでいくことができると考えています。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



新型コロナウイルスの影響を受け、旅行などが中止になり息抜きすることもなく毎日過ごしていました。何か、楽しむことはできないかと職員で考え「焼き芋！みんな焼き芋したことあるかな？」と古神グラウンドで焼き芋大会を開催することにしました。もちろん、検温・消毒はして屋外での行事です。久しぶりの余暇活動に、みんな朝からワクワクし落ち着きません。炭火でじっくり焼き上げる芋は絶品！スポーツを楽しみながら焼き上がりを待つのであつという間です。みんなの笑顔を見て職員が元気をもらいました。

芋は裏切らない！  
～超絶美味しい焼き芋～



丸山さんは、2015年から母屋で仕事を始め、丸6年経ちます。昨年の4月からそれまでの就労継続支援B型からA型へと移行し、着実に仕事面でも成長しています！！

今回はの普段の過ごし方を質問してみました。

Q&A

Q：家ではどう過ごしていますか？  
A：家に帰ってからは、天理教の教会へ行っておつとめをします。ごはんの後、自分の部屋で音楽を聴きながらビールを飲みます！  
休み前は2本(^ ^)

Q：自分のお給料で最近何かお買い物しましたか？  
A：電動自転車とパソコンを買いました。

Q：通勤、片道2時間以上かかるけどしんどくないですか？  
A：大丈夫です。仕事頑張らなあかんからな(^ ^)/

通勤  
スケジュール

AM6:00 自宅出発  
↓自転車30分  
AM6:40 電車(のりかえ1回)  
AM8:00 駅到着  
↓徒歩20分  
AM8:30 まほろば到着



昨年春に菌入れをしたシイタケがすくすくと育ち、収穫が始められるようになりました。クリ山での収穫は足場が少し悪いですが、皆楽しそうに収穫できるシイタケはないか探しながら足を進めていました。

大きくて丸々と太ったシイタケを見ると皆嬉しくて「大きいね!」「プリンプリンや!」と声が上がっていました。

次のシイタケの菌入れ作業もお手の物。慣れた手つきで職人さんのように黙々とシイタケの菌を入れています。

畑での取り組みは、夏に植えた冬野菜の収穫が終わり、次は春野菜の準備です。タマネギやニンニク、4種類のエンドウを植えたり、来たる夏に向けてナスやピーマン、キュウリなどを種から植えて準備しています。また、作物がより豊かに育つようヌカやもみ殻とEM菌を混ぜて発酵させた土壌づくりにも取り組んでいます。質の高い土壌にすることで、作物がすくすくと育つように準備しています。



EM菌って……?

簡単に言うと、農地や水環境の改善のために威力を発揮する、善玉菌の集合体のことです。



-PARTY-  
お楽しみ会

毎年、利用者や保護者、地域の方々をお招きして開催している「クリスマス忘年会」ですが、今回は新型コロナウイルス感染予防対策として、その規模や内容を大幅に縮小して開催しました。今年度、予定していた行事は軒並み中止になり、「せめて『おたのしみ会』として実施してはどうか」という声があがり、行うことにしました。

土曜日の昼食1時間前に三木光司園食堂に集まり、小一時間程度歌ったり踊ったりゲームをしたりして過ごしました。入室前に手洗い・消毒、マスクの着用、そして席も距離をとった配置にするなど十分な感染対策をして行いました。マスクをしたままの歌や踊り、ゲームなので、口元の表情は見えませんが、久しぶりの行事に皆さん楽しそうにしていました。

ダンスの途中でサンタクロースが乱入してくるサプライズもあり、保護者会からのプレゼントなど、たくさんの方の協力があって楽しい時間を過ごすことができ、本当によかったです。



大変なことよりも楽しかった事の方が多く、あつと言う間の10年でした。上司の方々、同僚のみなさん、メンバーのみなさんに助けられなんとかここまで来ることが出来ました。本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひします。

ウェルフェアまほろば  
支援員 樋渡 満子



まほろばに、福祉もパンも未経験で入って、毎日勉強になる事があり本当にあつという間の10年でした。10年経った今でも日々新しい発見があり、とても充実した日々を過ごしています。

これからもどんどん進化し、すごいスピードで成長するまほろばと共に自分も進化し成長していきたいと思ひます。

ウェルフェアまほろば  
支援員 吉田 宗史



「おはよ～れいこさん」「ごちそうさま～。いつも美味しい朝ごはんありがとうございます～」この言葉に支えられた10年。素直で、心の美しい方達に心が洗われる事も度々ありました。全ての人に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

ホームにっこり  
世話人 下津 麗子



水耕栽培一筋、あつという間の12年間でした。本当にお世話になりました。色々な思い出がまるで昨日の事のように頭の中によみがえってきます。

これからもがんばっていきます。

母屋 支援員 高木 一生



永年勤続表彰をいただきありがとうございました。私は2009年4月に母屋のパート職員となりました。子育てをしながらのお勤めで大変な時もありましたが、長い間お勤めさせていただく事ができましたのも近くで支えて下さいました皆様のお陰と心より感謝しております。これからも健康に気をつけて微力ながら頑張りたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

母屋 支援員  
久斗 恵子



## ホームまほろば

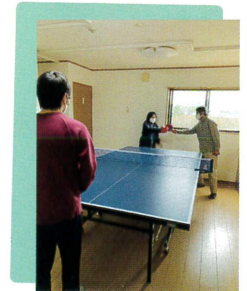
卓球台を  
いただきました！

(福) 神戸市西区社会福祉協議会様より「赤い羽根共同募金」50,000円を助成いただき、卓球台を購入しました。ホームの利用者さんは、コロナの感染予防のため、あまり外出もできなかったもので、運動不足とストレス解消になり大変喜んでます。卓球台は公式サイズでとても立派なもので、利用者さんも大喜びです。それぞれの空いた時間を楽しまれています。

ホームまほろば・よろこび寮  
老朽化改修工事

ホームまほろば(令和2年2月完了)とよろこび寮(令和3年2月完了)の建物老朽化改修工事を行いました。

神戸市よりグループホーム整備補助金をいただき、昨年度は「ホームまほろば・男性4名利用」、今年度は「よろこび寮・男性7名利用」の建物外壁や屋根、浴室、トイレ、洗面所等の改修工事を行いました。2棟とも13～14年が経ち改修箇所が目立ってきていたため、今回の補助は大変ありがたいものです。きれいになったホームで利用者さんも気持ちよく快適に過ごされています。大切に使用させていただきます。





フーっと一息入れましょう。

世間では鬼滅の刃が大人気ですね。この物語は剣士達が呼吸法を用いて肉体の機能を高め、強靱な鬼達に立ち向かっていきます。呼吸によって強力な攻撃を繰り出したり、ケガの痛みを和らげるなど、呼吸は一つの技術として取り上げられています。

リラクゼーションにおいても呼吸法はお手軽かつ有効な方法とされており、緊張した時に深呼吸をされる方も多いのではないのでしょうか。もちろんその都度でも効果を得る事ができますが、型を覚え習熟することでより高いリラックス効果を得ることができます。今回はブームにあやかって呼吸法を一つご紹介させていただきます。名付けて『リラックスの呼吸』です。

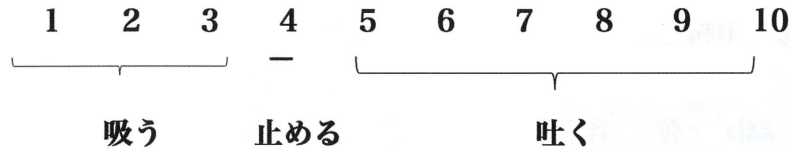
〈やり方〉

①頭の中でゆっくり10秒数えます。

②1～3で吸う、4で止める、5～10で吐くイメージです。

③上記のやり方で10回程繰り返します。

\*ポイントは、ゆっくりとしたリズムと「吸う」よりも「吐く」を長くする事です。



呼吸を使いながらストレスと上手に付き合っていきましょう！



## 回想録

～素晴らしい人達との出会い～

社会福祉法人まほろば  
常務理事 門口 守子

今のまほろばがあるのは、多くの素晴らしい方々との「出会い」のお陰です。「障害があっても人に喜んでもらえる仕事があるはずで、働く喜びを感じながら、やりがいや生きがいに繋げてもらいたい。」という最初からの思いに、神様が素晴らしい人との出会いをお与えくださったと思っています。今回から、しばらくの間、この紙面を通して、お世話になった方々との思い出話をしてみたいと思います。

最初に出会ったのは、社会福祉法人えんぴつの子の家の創設者である 故 玉本格先生でした。玉本先生との出会いは、私の福祉に対する冒頭の思いをますます強いものにしていただきました。また、多くの人との出会いにもつなげていただきました。玉本先生は、養護学校の校長を退職後、「教え子の未来のために」と、私財を投じて土地を購入され施設を立ち上げ、その後も次々と障がい者支援の取り組みを進められました。私たちはその志と熱意に打たれました。玉本先生の実践を目の当たりにさせていただけたことは大きな幸運でした。

また、同じく私財を投じて作業所を作られた木の根学園の創設者丸山克己先生(100歳)には、現在のまほろばパンの仕事に取り組むきっかけをいただきました。丸山先生は、障がい者の仕事としていち早くケーキやクッキー作りなどに着目されましたが、当時は「障がい者を働かせるのか」という非難もあり、特に販路の開拓などでは、大変な苦勞があったと思います。そんな経験から、現在もまほろばの活動を自分のことのように考えて応援くださっています。先生は昨年、白寿を迎えられましたが、ますますお元気で、日々、世の中の役に立つことはないかと思案を重ねておられます。私たちは、少しでも丸山先生に近づきたいと願いながら、歩みを進めています。



常務理事(左) 丸山克己様(中央)  
※令和2年1月9日 祝賀会

# 法人本部よりご報告

## 役員就任

- 紺谷宏志氏 令和2年9月18日付、社会福祉法人まほろば 評議員に就任  
現職 社会福祉法人白鷺園 理事・施設長
- 松尾真理子氏 令和2年10月4日付 社会福祉法人まほろば 理事に就任  
社会福祉法人まほろば 前評議員  
現職 天理教加古大教会前会長夫人、社会福祉法人博愛福祉会 評議員

## 寄附報告(令和2年4月～令和3年1月)

皆様より温かいご寄附を頂戴し、心より感謝申し上げます。

### 寄附金 ご寄附いただいた方々(敬称略)

佐々部材木店 渡邊社中 岩下さよ子 谷口昭廣 湯本正史 川野由紀子 NPO法人アステル  
長木義明 中村古 渡辺たかね 山口龍廣 広瀬りえ 藤本みえ子 飯田登代子 酒井理晴  
本村文子 本城敏子 山瀬好雄 井岡正嗣 T&Mテクノロジー(株) 中嶋道治 高田珠美  
富森裕 森田正春 吉田はなゑ 石黒勝信 石黒こま 古畑泰二 西村茂子 久保田康愛  
松浦道隆 松浦葉子 丸山克己 中尾洋一 中川俱子 (株)三谷テクノ 奥泉勝夫 斎藤和代  
(株)かつら 横山佳成 岡村晃 片山克子 村井育子 西村幸子 長谷川みなみ まほろば後援会

### 寄附(不動産) ※将来グループホームに使用予定

寄付者 : 藤本みえ子 様

物件概要: 所在地 → 三木市別所町高木字板辺761番

土地 → 374.20㎡

建物 → 木造瓦・亜鉛メッキ鋼板葺 平家建

床面積 → 129.74㎡



### 寄附物品

まほろば後援会様より古神研修棟3Fに卓球台2台とバドミントンラケット2セットをいただきました。



## まほろばカーニバル中止のお知らせ

毎年5月の第3日曜日に開催しております「まほろばカーニバル」は、昨年引き続き新型コロナウイルスの感染状況を鑑み残念ながら中止とさせていただきます。

- ご連絡は郵便、電話、FAXでお寄せください。

〒673-0434

社会福祉法人まほろば

住所: 三木市別所町小林字仕負谷118-111

まほろばホームページ

QRコード↓



電話: 0794-82-9457

FAX: 0794-82-3784

担当: 広報係迄

HP: <http://www.mahoroba.or.jp>



### 皆様からのご意見を募集しています

皆様のご意見をお寄せください。年に2回のまほろばだよりですが、皆様からのご意見を募集して要望や情報等を共有し、今後の活動や支援等に役立てていきたいと考えております。